

240 回例会のご案内 Peter Matthews さんのプレゼンテーション

日時：9 月 28 日（土）午前 10:30 時～正午 受付開始：午前 10 時 15 分 費用：無料
 会場：大阪市立総合生涯学習センター（大阪駅前第 2 ビル 5 階 第 5 研修室）
 テーマ：「地球温暖化、寒冷化と NZ、日本におけるタロ（サトイモ）の将来性」
 みんなく准教授 Peter Matthews（ピーター・マシウス）さんの研究の専門分野サトイモのお話。マシウスさんはニュージーランド出身。オークランド大学理学卒業、同大学院修士課程修了、オーストラリア国立大学大学院博士課程修了。科学技術庁特別研究員（農水産省野菜茶業試験場）、日本学術振興会特別研究員（京都大学理学部）を歴任。1995 年より民博。正午より希望者は大阪駅前第 3 ビル 33 階「川久」で昼食懇親会（1575 円当日お支払）申込：同封はがきで 9 月 25 日（水）までにお申し込みください。



241 回例会のご案内 太津さんの果樹園で柿狩りと散策観光

スーパーマーケットではちょっとない見事な柿を
 ご賞味あれ。大好評につき 3 年連続実施。

吉野の山間にある柿農園で豊かな秋を楽しみましょう。
 農園主の太津さんは当協会の会員です。

日時：11/16(土) 午前 8:50
 （帰着予定は午後 5 時）

集合場所：大阪西梅田の大阪モード学園前集合
 （右図参照）JR 桜橋口から西に 100m

※近鉄下市口集合の方は 10:35 にバスでピックアップします。

費用：約 5000 円程度

（バス代実費 46,000 円程度を参加人数と距離で割ります。
 柿代、お弁当代は 2000 円）費用は参加人数で増減します。

申込：11/8(金)までに同封ハガキ等で協会事務局へ
 お申込ください。11/14(水)以降にお取消の場合は 1000 円
 の取消料がかかります。現地集合をご希望の方はご相談ください。



第 242 回例会「クリスマス例会」のご案内

今年も恒例の「クリスマス例会」を一緒にしましょう。

日時：12 月 21 日（土） 午前 11 時 30 分開始 午後 2 時 30 分終了
 （受付は午前 11 時 15 分より）

場所：神戸外国倶楽部 神戸市北野町 4-15-1 電話：(078) 241-2588

三宮駅もしくは新神戸駅からタクシーで 5 分。三宮そごう百貨店前のバスのりば「三宮駅前」から 7 系統「神戸駅前行き」にて「山本通 3」下車進行方向まっすぐ北徒歩 2 分つきあたり、トアロードのてっぺん（山側終点）にあります。三宮駅もしくは新神戸駅からタクシーで 5 分。注意！ タクシーを使ったとき北野外国人倶楽部と間違い易いので「トアロードの突き当たり」にある神戸外国倶楽部と伝えてください。

会費：5,500 円です。飲物は各自払い

プログラム：☆お一人 30 秒以内全員スピーチ ☆プレゼント交換（手作り歓迎、新規購入の場合は千円程度まででご用意ください） ☆ビンゴ☆バサ（軽くてお高めのもの寄付

を歓迎） ☆スペシャルゲスト：☆スペシャルゲスト田中郷子さん（たなか さとこ、ソプラノ）の美しい歌声をお楽しみください。田中さんは大阪音大音楽部卒業、神戸大学大学院修了、芦屋市在住、声楽家として活躍するとともに西宮高校音楽科にて後進の指導にあたっています。国際経験が豊かで英語、イタリア語、スペイン語に堪能です。ラオス、カンボジアにピアノや楽譜を送る NGO 活動を行っています。大好評だった一昨年に続いてご出演をお願いできました。

申込：締め切り日 12 月 13 日（金）までに、同封のハガキ等で協会事務局までお申込みください。
 12 月 17 日（火）よりお取消の場合は会費全額をいただきます。



特別ゲスト
 田中郷子さん（ソプラノ）

年度初めのご挨拶

会長 呉橋真人

お詫びから始まる 2013 年度初めての会報をお届けいたします。「大きすぎるりんご(身丈に余る仕事)」にかじりついたため、なかなか会報に手がつかず、本日まで遅れてしまいました。申し訳ありません。

早速ですが、年会費の郵便振替用紙を同封しておりますので、納入をよろしくお願い申し上げます。

この間、NZ では中国の経済進出、映画「ホビット」2 部と 3 部の撮影終了、粉ミルク疑惑(結局間違いでした)、クライストチャーチのレッドゾーン解除、仮の大聖堂オープン等が主要なニュースでした。日本では暑い暑い夏がようやく去ったと思ったら豪雨がやってきました。

6 月 22 日会員英正之(はなふさ まさゆき)さんが千葉県松戸市で永眠されました。仙台 NZ 協会の創立者のおひとりで関西への移住を機会に 1999 年に私たちの協会にご加入いただき、早速「川瀬勇追想・遺稿集」出版委員会をお引き受けいただきました。深夜まで黙々と校正をされていた姿が思い出されます。2010 年 5 月 14 日撮影の写真をご覧ください。協会創立 40 周年記念 T シャツのお披露目の際モデルとなっていました。これから間もなく突然ガンの宣告を受けました。千葉へ移られてからは松元副会長が出張の度にご訪問下さって消息を私どもにお知らせ下さいました。毎年クリスマス例会への参加を熱望されながら、かないませんでした。

8 月 31 日クライストチャーチ市でBudge Hundleby(バッジ・ハンドルビー)さん(写真)が突然天に召されました。



84 歳でした。1990 年代のクライストチャーチ日本祭委員会事務局長 Euan Hudleby さんの愛妻であり、第 2 代大阪 NZ 総領事 John Hundleby さん(現在はビーフ&ラム NZ、日本支社代表)の母上です。2010 年協会がクライストチャーチで例会を行った際ご出席いただきました。お二人のご冥福をお祈りいたします。

簡単に例会報告を行います。

第 238 回例会：4 月 20 日(土)大阪中央電気倶楽部にて「2013 年度総会」を行いました。出席者は下記の 21 名でした。村瀬哲也さんが議長に選出され、同封別冊の通り進行了しました。2012 年度は 34553 円の黒字でした。例会費は 2781 円の黒字でした。会員が 14 名増え、例会参加者は前年度より延べ 68 名増えました。また「会報発行を年 6 回から、年 4 回以上とする」会則変更の動議が提出され、可決されました。裏表紙に写真 2 枚を掲載しております。

第 239 回例会：5 月 25 日(土)神戸市市民福祉センター調理実習室で恒例の「NZ ラム&ビーフ例会」を開催しました。出席者は 25 名でした。例年より 10 名くらい少ない参加者でしたが、幹事永田美夜子さんのレシピに従い、和気あいあいと調理を楽しみ、すべての作品は「かつてない最高の出来栄え」でした。どれも素晴らしいのでいつもの人気投

票はあえて行わないこととなりました。貴志さんがご近所のお寺で見かけたという川柳が大うけでした。お寄せ下さいましたのでぜひお読み下さい。みなさんの笑顔の写真は裏表紙をご覧ください。

臨時例会：石井久行さんプロデュース、7 月 13 日(土)大阪中央電気倶楽部にて Nathan Cooper さん(堺市国際交流員、北島の Katikati ご出身)を囲んでの臨時例会。15 名が出席しました。高校時代 10 ヶ月徳島に留学した経験があるそうですが、日本語の流暢なこと、また積極的に日本の行事に参加する姿勢には舌を巻きました。

臨時例会：9 月 11 日(水)茨木の NZ ダイニングバー「ミッションベイ」(会員の井上久知治さん経営)で NZ へ移住した佐藤慎平君を囲んでの臨時例会が行われます。15 名の出席が予定されています。

今後は表紙にあるように 9 月、11 月、12 月と例会が続きます。ご参加をお待ちしております。NZ を縁に集まった仲間の親睦を深めてまいりましょう。

< 例会参加者 (敬称略、五十音順) >

238 回例会「総会」: 石井久行、奥野佳恵、貴志康弘、呉橋真人、桑原耕治、酒井道雄、酒井香代子、宗佐保、高崎映三、辰馬幸子、永田美夜子、林園子、塙幸子、藤村琇子、正木紀通、松元昇、村瀬哲也、柳田勘次、山内龍男、山下芳夫、山田輝子

239 回例会「ラム&ビーフ」: 小木淑子、奥野佳恵、貴志康弘、北野偉智子、呉橋真人、桑原耕治、小山由佳 千紗都(5 歳) 純平(2 歳)、酒井道雄、酒井香代子、辰馬幸子、外山純、外山桂子、中谷紀子、永田美夜子、畑中佳奈子、東裕子、塙幸子、日高隆義、正木紀通、松元昇、柳田勘次、山内龍男、山田輝子

臨時例会 7 月 13 日: Nathan Cooper, Peter Matthews, 石井久行、井上佳久、加藤進、行天幸子、行天茂夫、呉橋真人、武田耕道、西川賢一、林園子、塙幸子、松元昇、山口剛生、山田輝子

～ 追悼 英 正之 さん ～



誠実で優しい笑顔の英さんを偲ぶ

柳田勘次

川瀬勇追想・遺稿集出版委員会が発足した 1999 年 10 月、私と英(はなふさ)さんは MAK で初めて出会いました。二度目は、同年 11 月に飛騨高山で当協会が協賛した「日

本ニュージーランド(NZ)協会創立40周年記念」の会場でした。その時、英スマイルで名刺をもらいましたが、「ニュージーランド学会々員」とありました。会社をリタイアして神戸にこられると直ぐ、当協会に加入したようです。

それからは、ドクター川瀬の追想・遺稿集の出版を通じて親しくなり、大阪で編集や校正をした帰りの居酒屋で、彼の人となりを知りました。彼はスマートで背筋がシャキッとしており、ダンディで笑顔を絶やさない人でした。しかし、マスコミ界で揉まれながらも誠実で気配りがよく、親切ですが物事の処理には筋を通していました。

例えば、波乱のあった追想・遺稿集を出版できたのは、彼の親和力と筋を通す努力があったからで、これは評価してよいと思います。編集が終わって、宮脇道子さんの岸部の事務所で祝杯をあげたとき、彼は酔いすぎて眼鏡を壊しましたが、それほど大喜びをしたものでした。しかし、この出版を通して培われた仲間意識が基底にあったので、その後の幾多の困難を乗り越えて現在の当協会があると思っています。

英さんのもう一枚の名刺には、「ポートアイランド住宅管理組合 理事長」とあります。たしか、ポートアイランド自治会連合会の副会長もされていましたが、押されて地域の世話役をされていたのでしょうか。もう一枚には、「神戸バイブル・ハウス 事務主事」とあります。四、五年前から理事に昇格されていましたが、それもこれも多くの会員から愛された結果であり、英さんの暖かい人格と気配りが偲ばれます。

彼は英会話スクールにも通っていましたが、生徒仲間のN氏との逸話があります。N氏は私のゴルフ仲間でしたが、三人が共通の友人であると分かったのは全くの偶然でした。N氏はボランティアで通訳をしていたが、神戸に美智子皇后がこられたとき神戸市に招待されて園遊会に出席し、美智子皇后に握手をしてもらいました。その柔らかい優しい手と言葉に感激した話のなかで、英さんの名前がでたわけです。

英さんは、このように誰からも愛された人ですから、2010年8月、ガンで余命6カ月と聞かされて理事全員が、全快を祈念した寄せ書きを送りました。また、松元副会長は抗腫瘍と免疫力を強めるNZのプロポリスを送り続け、宗佐さんはクリスマス例会と総会のDVDを三巻も作成して送り、呉橋会長や多くの皆さんが英さんを力づけてくれました。その一助もあってか、英さんは今まで体力を保持してくれました。

英さんは前述したように、リタイア後も誠実に多くの人と交わって、人生を全うしました。このような彼の QOL (Quality Of Life) が、彼の QDL (Quality Of Death) を高めることに役立ったのはいうまでもありません。しかし、それは必然ではなく、**彼が努力して人間としての生き様の質を高めたから、その後に訪れた死の質が高まったわけです。**奥様は電話で、英さんが6月22日に逝去されたことと、本人の意思で葬儀はご親族だけで執り行ったので、心配なさらないようにと話されました。

斉藤茂吉の歌集に「暁の薄命に死をおもう除外例なき死といえるもの」という歌がありますが、例外のない死と向き合

った英さんはたじろがないで死の質を高めました。ガンが悪化して死を覚悟してからは、死ぬための準備を本人が全て済ませたことや、死に臨んでクリスチャンらしく昇天されたと奥様からお聞きしました。キリストとともに、天国で英さんらしく優しい笑顔で楽しく過ごされることを祈ります。

英さんの気配りに感謝しています

正木紀通

あれは確か第一回ラム肉料理の例会だったと思います。教会をお借りして二部の集いを開催したときのことでした。私の内向的な性格が少し顔を出して戸惑っていたときに、優しい笑顔と大きな声で話しかけていただき、私を話の輪に引き入れてくださいました。この時の英さんの優しい気配りに今も感謝しています。英さんありがとうございました。

追悼：英 正之 様

宗佐 保

遂に遂に、英正之さまは天国に召されてしまわれました。思えば余命一年以内と宣告されながら長きに亘りガンバリ抜カレマシタガ……。 (合掌)

終末期医療を受けられる中での、ここ数年の英さんの日々は(恐らく)思い、悩み、葛藤され、絶望感の淵に沈まれたり、一刻の希望・夢を見出したりの大変な日々であられたことと思います。そんな闘病の混沌状況(生活の中)、今日を生き抜く一条の光、勇気をもたらし、支えつづけてきたものは、柳田さんを通じての日本NZ協会(関西)朋友とのご縁ではなかったでしょうか……!!

思えば英さん。何時も英流美学を実践、貫かれた生き様は実に見事でした……。

「知る人ぞのみ知る」ですが英さん、大変な美食家、グルメ志向、こだわりの一品、こだわりの信条、信念、ダンディズム溢れる生活スタイル、人間関係の中での気くばり、心くばり……。と、数多のシーンがくつきりと浮かんできます。とりわけ「川瀬勇追想遺稿集」出版委員会時に於ける勤勉実直な作業ぶり、入稿完成前夜の日頃の静謐な表情・フニイキとは打って変わった喜色満面、体全体で喜び感激をあらわした英さん……。

そんなシチュエーションが、よみがえります……。 (心の中に生き続けます)

「一期一会」があれば「俱会一処」の世界もあります。

英さん！いつか(未来)楽しくお会いしましょう。(ホーコー鍋(火鍋)をつつき乍ら、NZ ワインを飲みながら……)

※「俱会一処」 仏教用語。この世でお会いした人はあの世でも必ずお会いする…。「一期一会」の語源。

英さんと私

山内龍男

英さんがNZ協会(関西)加入されたのは、そう古くはありませんし、一方私は例会には結構不参加でしたので、共にお話した時間は限られていました。しかしNZ在住経験者同士

として、お会いした時の話しは結構弾みました。丁度我々協会の会則改訂や運営で種々議論のあった時期と重なり、私とその取りまとめ役の一人であったことから、半ば私的に、英さんが仙台地区のNZ協会でも活動されていた時の話を伺い、会則や協会運営のことで貴重なご意見を頂いたことがあります。結局、それはあまり生かされない結末でしたが、非営利任意団体の運営の在り方として、将来また日の目を見ることもあるでしょう。そのようなことで、一緒に会食しませんかと数度も誘われたのですが、多忙にかまけて実現しなかったのは心残りです。ただ、先だつての5月例会の後、直ぐにお詫びを兼ねて、まだどこで会えるでしょうと手紙を差し上げたので、心のつかえはやや軽くなりました。ご冥福を祈ります。



川柳を3句ばかり

貴志康弘

- ①ガガよりも 派手だぜ家(うち)の レディー・パパ。
- ②最近は 入れ歯も会話も 噛み合わず。
- ③妖精と 呼ばれた妻が 妖怪に。

失礼な内容(年輩の方は、気にされるかもしれない)で、すみません。近くのお寺の住職が、「これはパクリなんです。でも、いろいろなことを笑いに変えることが大切」と言っていました。



新刊書紹介 日本人の知らない武士道

クライストチャーチ出身のアレキサンダー・ベネットさん（関西大学准教授、国際なぎなた連盟副会長、全日本剣道連盟参与、日本武道学会理事）著「日本人の知らない武士道」が文春文庫から7月20日刊行されました（850円＋税）。非常に明確な日本語の文章と論理に驚きました。柔道界が大きな問題になっている今、「武道」概念の歴史と現代における価値を提示した本書がNZ人の

の手になることも重要なことです。ぜひお買い求めください。ベネットさんへは例会でお話しいただけるようお願いのメールを送りました。



ニュージーランド ニュース クリッピング

NZ地震で被害の大聖堂跡に「紙の聖堂」がオープン
ニュージーランド南島クライストチャーチで15日、2011年の大地震で崩壊した大聖堂跡に日本人建築

家、坂茂氏が設計した紙の聖堂が正式にオープンした。
ニュージーランド第2の都市クライストチャーチを2011年に襲ったマグニチュード(M)6.3の大地震では185人が死亡。中心部では多くの建物が崩壊し、市の象徴だったネオ・ゴシック建築の大聖堂も大きな損傷を負った。

リンダ・パターソン司祭代理はAFPの取材に、革新的な紙の聖堂の完成は大地震からの復興の大きな節目となるものだとした。「以前の大聖堂は様々な意味で市を象徴するものだった。新しい聖堂はクライストチャーチの再編と再建のシンボルとなるだろう」

防水および難燃加工が施された直径600ミリの紙管が使われている新しい聖堂は、横からみると「A」の字のような形で、700人を収容できる。変わった素材を用いているが耐久年数はおよそ50年で、聖公会は新たな聖堂が建設されるまで、少なくとも10年間はこの聖堂を使用する計画だ。【翻訳編集AFPBBNews】
[AFP＝時事] (2013/08/16-14:58)

NZ被災地に「紙の聖堂」 日本人設計、復興の象徴



ニュージーランド地震で被災したクライストチャーチに完成した「紙の大聖堂」。右は設計した日本人建築家、坂茂氏＝1日（共同）

2011年のニュージーランド地震で被災地クライストチャーチの大聖堂が損壊したことを受け、日本人建築家、坂茂氏が設計した「紙の大聖堂」が近くに完成、お披露目の式典が1日開かれた。現地を訪れた坂氏は式典に先立ち、「復興のシンボルとして親しまれてほしい」と語った。

紙の大聖堂は地震で死亡した185人のうち日本人28人が犠牲となったビル倒壊跡地前に建てられた。当面、損壊した大聖堂が再建されるまでの代替施設として礼拝などに利用される。

三角形をした正面の輪郭は100年以上の歴史を持つ損壊前の大聖堂の形から着想を得たという。屋根には「紙管」と呼ばれる98本の紙製パイプが用いられた。紙管は被災地でも調達が可能で、安くて軽く、地震にも強い。完成した大聖堂内部の壁に掛けられた十字架も紙管できている。
(2013.9.1 共同)

ニュージーランド航空、純利益56%増 13年6月期

ニュージーランド航空(ANZ)は現地時間8月29日、2013年6月期(12年7月1日-13年6月30日)通期決算で、純利益が前年同期比56%増の1億8200万NZドル(約139億5576万円)となった。

税引き前利益は前年同期比72%増の2億5600万NZドルで、過去5年間で最高だった。

また、ANZは今後3年間で18億NZドルを新機材導入に充てる予定で、ボーイング777-300ER型機を2機、

787-9 を 6 機、エアバス A320 型機を 9 機、ATR のターボプロップ機 ATR 72-600 型機を 4 機導入する。

2013 年 9 月 3 日 Aviation Wire

観測史上最も暖かい冬

気象学者は、今年のニュージーランドの冬は、1800 年代の終わり、信頼できる観測記録が始まって以来、最も暖かい冬であることを発表した。8 月が 9 月に感じられるような温度が続き、平均気温が最も暖かい冬となっている。今年の冬の平均気温は摂氏 9.5 度で、通常の気温よりも 1.2 度高い。今年以前、直近で最も暖かかったのは 1998 年で、その時の平均気温は 9.3 度であった。

NZ 大好き 2013 年 8 月 28 日

ニュージーランド首相の娘さんの日本理解が微妙で、ちょっと気になる件

第 38 代ニュージーランド首相 John Philip Key 氏の 20 歳の娘 Stephanie Key さんは、パリの一流美術学校で学ぶ学生。来月 9 日から開催されるイベント「Paris Design Week 2013」のプロモーションのため、セルフポートレートを公開しました。現役首相の娘がヌードになったということで、フランスとニュージーランドではかなりの話題



になっているこの作品。でも日本人としては、作品に表現された日本文化（？）の方が気になってしまいます。例えば、タコを頭の上にのせ、タコの足を口に咥えた作品。この作品で胸の部分に「神風」とあるのは、何を意味しているのでしょうか？

このように、Stephanie Key さんによる日本文化理解が微妙に気になる一連のセルフポートレート作品は、しかし、多くのアーティストからの高い評価を受けているようです。英国メディア Daily Mail によれば、ファッションフォトグラファーの Chris Sisarich 氏は「彼女に才能があるのは明らかだ」と称賛しているそう。また、Key さんの通う美術学校の学生で、作品がイベントプロモーションに採用されたのは、彼女を含めてわずか 6 人とのこと。確かに、才能はあるのかもしれません。

では、Key さんの父親は、この作品についてどう思っているのでしょうか？ Stephanie Key 氏の父親であるニュージーランド首相 John Key 氏は、ローカルテレビ局のインタビューに答え、「写真は、学校のカリキュラムの一部だ。私たちは、彼女の作品を大変誇りに思う」と語っています。

ニュージーランド旅行者がバイクで南北境界線を通過

北朝鮮を訪れていたニュージーランドのバイク旅行者 5 人が 29 日、厳重な警備が敷かれている南北の軍事境界線をバイクで通過し、韓国に入った。この軍事境界線は、世界中に唯一残されている冷戦時代の国境ともいえる。

バイク旅行者の一行はロシアのマガダン（Magadan）を出発し、北朝鮮の白頭山（Mount Paektu）山から朝鮮

半島（Korean peninsula）を走る山の尾根を通過して韓国の漢拏（ハルラ、Halla）山を目指す 9000 キロの旅の途中だった。

5 人のバイク旅行者の中で唯一の女性で、約 2 週間にわたってスズキ（Suzuki Motor）の 650cc のバイクに乗り北朝鮮国内を旅したジョー・モーガン（Jo Morgan）さんによると、一行はどこに行っても歓迎されたという。

軍事境界線を越えて韓国に入ったモーガンさんは記者団に対し、「（北朝鮮の人たちは）すばらしかった。皆手を振って見送ってくれた」と語った。

■北朝鮮メディアも一行の動きを報道

北朝鮮の朝鮮中央通信（KCNA）も 28 日、一行の動きを短く伝えている。

KCNA によると、一行は北朝鮮の建国の祖である故金日成（主席の出生地の万景台を訪問。「革命家としての金日成主席とその家族の生活について説明を受け…手の行き届いた古い住宅に保存されている歴史的遺物を見て回った」という。

【8 月 30 日 AFP】

ニュージーランド、ソフトウェアに対する特許権付与を禁止へ - 議会で可決

ニュージーランドの国会で、ソフトウェアを対象とする特許権の付与を禁じる法案が 117 対 4 で可決された。これにより、新たなソフトウェア・パテントは認められなくなるという。

この話題を採り上げた Ars Technica によると、知的所有権について定めた TRIPS 協定では、技術の分野を問わず、また製品であれプロセスであれ、いかなる発明も特許権の対象とするよう定められているが、今回通過した法案の関連条項では、コンピュータープログラムは「発明」にあたらないと明記されているという。

ただし、特許権の対象となる発明に付随する手段としてコンピュータープログラムが使用されている場合は、そのプログラムも特許権の対象となり得るが、コンピュータープログラムそのものに対する特許権は認められなくなるという。

ニュージーランドのクレイグ・フォス（Craig Foss）商務大臣は今回の法案通過について、「本物のイノベーションを保護しつつ、同時にニュージーランド企業が既存の発明をより柔軟に採用・改良できるようにするもの」と述べ、ニュージーランドにおける技術革新を促す「重要なステップ」とコメントしているという。

また今回の法案成立に深く関わったというクレア・キュラン（Clare Curran）議員は、IT 企業経営者の間から「世界中に何十万件もの特許が存在し、当たり前のものにさえ特許権が与えられている現状では、何らかの特許抵触なしにソフトウェアを開発することはもはや不可能」などといった声が上がっていると述べたという。特許権の行使の行き過ぎ（「パテント・トロール」）に対しては、ここ数年批判の声がさらに高まっており、そうした流れを受けてたとえば米国では 6 月にオバマ政権が「技術革新を生み出す人々を、つまらない裁判沙汰から守る」ための大統領令を発効していた。ただし、ソフトウェアに対する特許権自体を認めないとする今回の法案可決はかなり異例のものといえる。

2013 年 8 月 30 日 Wireless Wire News

「クリーンでグリーン」なイメージに傷、

乳製品汚染問題 NZ

長らく、「100%ピュア」を合言葉に自国の宣伝を行ってきたニュージーランドだが、同国の乳業大手フォンテラ（Fonterra）の乳製品からボツリヌス中毒を引き起こす細菌が見つかった問題により、そのイメージが損なわれるのではないかと懸念の声が上がっている。

フォンテラの問題は一企業の問題に収まらず、国全体に影響を及ぼしかねない。危機管理広報に詳しいマッセー大学（Massey University）のクリス・ギャロウエー（Chris Galloway）氏は、ニュージーランド経済でフォンテラが占めるウエートは大きく、ニュージーランドの輸出先として近年急成長していた中国におけるイメージが損なわれることへの影響も大きいと述べる。

「ニュージーランドのイメージとフォンテラのイメージは切り離すことができず、密接につながっている。フォンテラはわが国最大の輸出企業で世界中の市場でニュージーランドを代表している」と、ギャロウエー氏はAFPに語った。「この問題は『100%ピュア』ブランドに打撃を及ぼし、その余波もしばらく続く可能性がある」

ニュージーランドのイメージは特にアジア地域で価値がある。食の安全をめぐる問題が相次ぎ、地元製品への不信感が高まっている中国では特に際立っていた。

汚染の原因は、ニュージーランド北島（North Island）の工場における不衛生なパイプだったことが判明しており、汚染の疑いのある製品の回収および廃棄は比較的容易だろう。だがジョン・キー（John Key）首相が懸念しているのは、この問題でニュージーランド製品への国際的な評価が損なわれてしまうことだ。

キー首相は、フォンテラが問題を公表するのが遅すぎたと批判しているが、これに対しフォンテラのセオ・スピアリングス（Theo Spierings）最高経営責任者（CEO）は北京（Beijing）での会見で、情報公開を遅らせたことを否定。24時間以内に関係企業や当局に問題を報告したと述べ、反論した。

■「再発」フォンテラの対応に批判

ギャロウエー氏は今回の問題が乳幼児向け製品に関係していたことが大きかったと指摘する。フォンテラが乳幼児向け製品に関連して問題となったのは、今回が初めてではないからだ。

ギャロウエー氏は、2008年にフォンテラが一部所有する三鹿集団（Sanlu Group）が中国で粉ミルクのメラミン汚染を起こした問題に触れ、「（乳幼児向け製品で）問題が繰り返り起きていることで、人々は今回の問題が一回限りのことだと信じていることができないでいる」と語った。

ニュージーランド北島の酪農中心地で販売されているマナワツ・スタンダード（Manawatu Standard）紙は、フォンテラがこの5年間、危機管理を改善してこなかっ

たようだ」と社説で指摘し、「汚染自体よりももっと不安なのは、フォンテラの問題への対応だ。フォンテラは2008年の三鹿集団のメラミン汚染問題から何も学んでいないように見える」と述べた。

ギャロウエー氏は、このような悪いニュースに企業が対応する唯一の方法は完全な透明性だとし、情報公開を遅らせていると政府から非難されたことで、フォンテラへの信用が損なわれてしまっている状態だと述べた。

一方、ブランディングに詳しいオークランド大学（University of Auckland）のマイク・リー（Mike Lee）氏は、諸外国の当局がフォンテラの対応に満足しているのであれば、フォンテラには復帰の道もあると語った。「基本的に（乳製品の）需要は供給を上回っている。フォンテラの株価は一時的に下がったが、しっかりと対応さえすることができのなら（回復も可能だ）」

Neil SANDS 【8月6日 AFP】

NZフォンテラがスリランカで粉ミルクをリコール、政府が指示

製品からボツリヌス菌が検出され国際的な圧力を受けているニュージーランドの乳業大手フォンテラは10日、スリランカで同社の粉ミルクに微量の化学物質ジシアンジアミド（DCD）が混入していると指摘されたことを受け、スリランカで粉ミルクのリコールを実施し、同日までに完了したと発表した。

ジシアンジアミドは牧草の収穫量を増やすために牧草地に散布される化学物質。フォンテラは、自社の粉ミルクにジシアンジアミドは混入していないと考えているが、スリランカ政府の指示に従ってリコールを実施したとしている。

あるニュージーランド政府機関のウェブサイトは、ジシアンジアミドに毒性はなく、食品の安全性を脅かすものではないが、国際的な規制機関はジシアンジアミドの残留物を「汚染物質」とみなす傾向があると記載している。

AFPの取材に応じたスリランカ保健省の報道官は、保健省としてはジシアンジアミドはミルクに含まれるべきではない有毒化学物質であると考えているのでリコールを指示したと説明した。フォンテラはスリランカ市場で非常に有力な複数のブランドを持っており、スリランカが輸入する粉ミルクのうち3分の2近くはフォンテラの製品が占めている。

【8月11日 AFP】



ニュージーランド・ウェリントン（Wellington）で、フォンテラ（Fonterra）製品の汚染発覚を受けて棚から撤去された、フォンテラ製品を原材料に使う乳幼児向け製品

NZフォンテラの乳製品、ボツリヌス菌汚染は誤報



ニュージーランドの乳製品大手フォンテラ（Fonterra）の乳製品がボツリヌス菌に汚染されているとして世界中で回収（リコール）が相次いだ問題で、ニュージー

ランド当局は28日、ボツリヌス菌による汚染は誤報だったと発表し、公衆衛生に対する脅威はまったく存在しなかったと述べた。

8月上旬に起きたフォンテラ社製乳製品の汚染騒動により、中国からサウジアラビアまで多くの国では店頭から同社の粉ミルクが姿を消し、アジアの主要市場におけるニュージーランド製品の「清潔で地球に優しい」という評価は傷付けられた。

しかしニュージーランド第1次産業省は回収を発表した後、さまざまな試験を行った結果、見つかった菌が当初発表された致死率の高いボツリヌス菌（クロストリジウム・ボツリヌス）ではなく、「クロストリジウム・スポロゲネス」であることを確認したと発表した。同省の声明によれば、クロストリジウム・スポロゲネスからは有毒物質は生じず、通常の腐敗以外、この菌が食の安全を脅かす問題はこれまで一切報告されていないという。

ボツリヌス菌汚染という誤った結果が出た当初の試験はフォンテラが行ったものだったが、第1次産業省が同社に195種類の追加試験を命じたところ、陽性反応は全く示されなかった。

同省はすでに各国の規制当局に試験結果を通知するとともに、フォンテラ製品に関するボツリヌス菌汚染への注意を撤回した。 【8月28日 AFP】

1日2個のキウイフルーツで元気回復

オタゴ大学の調査で、毎日2個のキウイフルーツを食べると、その人の一日の気分がよくなり、元気になるという結果がでた。

調査は、54人の若い男子学生を対象とした。彼らは新鮮な果物の摂取不足で、ビタミンCが足りていない。

調査の結果、一日2個のキウイフルーツを取ると、倦怠感と鬱屈した気分が驚くほど減少し、今までなかった気力が湧いてくるということが判明した。

この調査を担当した教授によると、この変化はキウイフルーツがビタミンCを非常に多く含んでいることと関連すると述べている。 NZ大好き 2013年8月24日

残業時間増える

ある雇用調査で、従業員の残業時間が27パーセントも上昇したことがわかった。またこのうち48パーセントは、無給の残業である。

リクルート会社Haysによる399人の会社従業員を対象にした調査で、労働時間が増えた人のうち、40パーセントは週5時間、42パーセントは週10時間の増加と答えている。

これについて、公共サービス組合からは、政府がカットした人員の差分を補てんするために、残業が必要になるとの見解が出ている。

しかし、他のビジネスグループからは、ほとんどの従業員は超過労働のプレッシャーを感じておらず、無給にもかかわらず残業を喜んで行っている、といった声もあがっている。

サイモン・ブリッジ労働相は、従業員による労働超過時間を、世界的に起こっている現象を反映していると、肯定的に捉えている。 NZ大好き 2013年8月23日

猫のローリー、犬からの輸血を受け助かる

ニュージーランドで、ねずみを駆除する薬を誤って食べて死にそうになった猫に、輸血用の猫の血液がなかったため窮余の策として犬の血液を輸血したところ、奇跡的に助かり話題になっています。

ニュージーランドの北島のタウランガに住む女性のオスの飼い猫、ローリーは、先週、ねずみを駆除する薬を誤って食べてひん死の状態になり、動物病院に運ばれました。ローリーは、獣医師から、すぐに手当てをする必要があると判断されましたが、この動物病院に輸血用の猫の血液はありませんでした。このため、飼い主の女性は、近くに住む知り合いに連絡を取って、この知り合いの愛犬のラブラドルレトリバーの血液を提供してもらい、獣医師が輸血しました。その結果、ローリーは奇跡的に助かり、いまではすっかり元気になっています。 8月25日 NHK

ニュージーランド首都南方でM6.5の地震、大きな被害なし

ニュージーランドの首都ウェリントンの南方で16日、マグニチュード（M）6.5の強い地震があった。首都ではパニックで道路に飛び出す人もいたが、大きな被害はほとんどなかったようだ。

同地域では数週間前にも同程度の地震があったばかり。震源地はニュージーランド南島の北端付近で、震源の深さは約8キロ。

消防当局は、地震の影響を完全に評価するのは時期尚早だと指摘した。窓ガラスが粉々になったり、スーパーマーケットの棚から商品が落ちたり、建物への表面的な被害は報告されている。

米地質調査所（USGS）は地震の規模をM6.8としていたが、M6.5に修正した。一方、ニュージーランドのGNSサイエンスはM6.2としている。

太平洋津波警報センターによると、広範囲な津波警報は発令しなかった。

ウェリントンではエレベーターに閉じ込められた人もいたほか、当局が被害を確認するため、航空便の運航、鉄道やバスの運行が一時停止された。ニュージーランド証券取引所を運営するNZX<NZX.NZ>は取引を一時停止した。

ニュージーランドドルは対米ドルで下落した。

南島の北部では広範な停電が発生した。

[ウェリントン 8月16日 ロイター]

ニュージーランド出身シンガーUSチャートのトップに

ニュージーランドのティーンエイジャー歌手ロード（Lorde）が、アメリカのビルボード・オルターナティブ・ソングスのトップになった。女性のソロシンガーがトップになるのはほぼ20年目だという。

オークランド、ノースショアの16歳の少女ロード、本名はエラ・イーリッヒ・オコナー、によるRoyalsは、単独の女性歌手の曲としては、1996年以来トップになった初めての曲。

ロード以前に最後にトップになったのは、アメリカの歌手トレイシー・ボナム。彼女の言葉では、「彼女がトップになったことで、ニュージーランド人歌手にも扉が開くのでは。彼女はまだ凄く若いし、未来が目の前に広がっている。頑張れば、素晴らしいキャリアを手にしてチャンスをつかむことができる。幸運を願ってます」

ロードは12歳のときに、ユニバーサル・レコードと音楽契約を交わしており、現在はアメリカでのツアー中。
2013年8月18日 NZ大好き

子どもの貧困は誰の責任か—ニュージーランドの場合

日本では6月中旬に「子どもの貧困対策法」が可決し、年内に施行されるが、それに先立つこと1カ月、ニュージーランドでは、厳しい経済環境に置かれた子どもを対象とした既存の支援プログラムへの、政府による助成金の追加が発表になった。

ユニセフの研究機関であるイノチェンティ研究所は、先進国の子どもたちの状況を調査・分析した報告書、『レポートカード』を発行している。 昨年の『レポートカード10』は、特に「子どもの貧困」に焦点が当てられていた。

そこでは、等価可処分所得（※1）の中央値の50%以下をその国の「貧困ライン」とし、それ以下で暮らす子どもの割合が算出されている。調査対象となった先進国35カ国のうち、日本の相対的貧困率は高い方から9番目で14.9パーセント、ニュージーランドは16番目で11.7パーセント。どちらも残念な結果となっている。

■経済的に困窮する家庭への社会福祉と民間支援

ニュージーランドにおける、いわゆる貧困層といわれる人たちは、年に約1万6,000NZドル（約126万円）で暮らしているといわれている。こうした人々を助けるために、政府は1年間に16億2,000万NZドル（約1,247億円）をつぎ込む。日本での失業給付金の基本手当に当たる「ジョブ・シーカー・サポート」、片親家庭を対象とした「ソール・ペアレント・サポート」などを中心に、子どものいる家庭を対象とした、「ワーキング・フォー・ファミリーズ」と呼ばれる税額控除も受けられる。幼児教育費も部分的に政府が負担す

る。そのほかにも住宅費や家電購入の際の援助、住環境を改善するための断熱材の費用の補助などがある。医療費が軽減されるシステムも浸透している。

今年度の政府予算にも、貧困家庭への援助が組み込まれている。既存のサポートへの追加支援をはじめ、住環境が原因でかかるリウマチ熱の予防のためのコスト、慈善団体を通して靴などを支給する費用などが新たにこれに含まれることとなった。

さらに民間組織からの支援もある。NZフェデレーション・オブ・ファミリー・バジェット・サービスは、家計をはじめとするお金のやりくりについて、全国の160の拠点を中心に、学校、企業、コミュニティグループを通してアドバイスをこなうNGO。昨年は5万5,000人以上がこのサービスを利用した。負債を抱えていたり、お金の賢い使い方を身につけていなかったりする貧困層が中心だ。教会やコミュニティグループが運営するフードバンクでは、必要な家庭に食糧を無料で配布している。

■貧困家庭出身の子どもへのサポート

貧困家庭出身の子どもへの支援は、現在主に物資の支給という形で行われている。その元祖ともいべき存在が、2005年に発足した「キッズキャン」。この慈善団体は、現在、全国のデシル（※2）の低い341校の子どもを対象に、朝食や身の回り品を提供している。



キッズキャンを通してレインコートを支給された子どもたち。これがなければ、登校しないか、雨の中びしょ濡れになり授業に身が入らないかのどちらだった=2013年3月
(C) Kids Can NZ

そのほかにも、果物を配布する、「フルーツ・イン・スクールズ」を保健省が2006年から行っている。貧困家庭が集中する南オークランドで慈善事業を展開するミドルモア・ファウンデーションは、冬の寒さが厳しい6月に「ジャミーズ・イン・ジューン」と銘打ち、入院する子どもにパジャマを配っている。

こうした支援の中でも、朝食や果物が子どもに与える恩恵は多大だ。現場の教師によれば、おなかを満たされた子どもは学習意欲が向上し、問題行動も起こしにくいという。

■朝食プログラム追加援助決定の裏側

2009年から大手食品メーカー2社が始めた「キックスタート・ブレイクファスト」は、現在デシル1~4の570校で週に計4万8,000食の朝食を配布しており、その数はキッズキャンを上回る。5月末、このプロジェクトにニュージーランド政府が加わることが決定した。この先5年間にわたり、950万NZドル（約7億4,600万円）を助成し、同プログラムを拡大する。

食事を抜かなくてはならない子どもの存在は、各メディアが報じ、多くの寄付が一般市民から寄せられた。し

かし、それだけでは不十分だと感じた市民が政府に働きかけ、今回の助成が決まった。全国ネットの民放テレビ局のひとつであるTV3が行った世論調査では、回答者の74パーセントが、朝食が食べられない子どもの支援に政府の介入が必要としていた。

■政府の支援がもたらした数々の疑問

政府によるキックスタート・ブレイクファストへの助成金の追加が多く国民に歓迎される一方、こうした援助は付け焼刃に過ぎず、子どもの貧困の根本解決にはならないという意見も出ている。「食事をはじめ、子どもに生活必需品を与え、面倒を見る責任は政府ではなく親にある」と主張するのは、ジョン・バンクス・アクト党党首だ。



キッズキャンでは、全国チェーンの歯科医の協力のもと、経済的事情で治療を受けられずにいる子どもに、治療の機会を与えている。=2013年5月(C) Kids Can NZ

アクト党首のこの発言がきっかけとなり、「誰が貧困家庭の子どもに対して責任をもつのか」という議論に火がついた。政府が朝食を提供するようになった今、この先子どもに三食配布しなくてはならなくなるのか。そうすると、親の存在意義はどこにあるのか、そして子どもの成長の責任は誰が負うのか。

ジョン・キー首相は、朝食提供プログラムは親の責任を代替するものではないと強調する。子どもの成長の一義的責任は親が担うものだが、実際問題として困窮する子どもがいる以上、政府はそのサポートを行うべき、という考えだ。

「子どもたちの窮状は、家庭にお金がないからなのか、それとも親が適切な子育てをしていないからなのか」という問いかけも聞かれる。これを取り上げた討論番組では、会場参加者と視聴者の63パーセントが、親の子育てに問題があると考えていることがわかった。金銭的に余裕がなくても子どもを最優先にすべきなのに、その責任を放棄している親が多いため、子どもが困苦をなめることになるという指摘だ。一方37パーセントの人々は、親が経済的に逼迫すれば、子どもに物理的、精神的悪影響が出るという考え方を支持している。

■貧困から自らの力で脱却を試みる子どもたち

デシルが低い多くの学校が朝食提供プログラムを受け入れる中、生徒自らの力で貧困を乗り越えようとしている学校もある。そのひとつが北島のギズボーンにあるテ・ファラウ・スクールだ。デシル1のこの学校では、シュレッダーにかけた紙ごみをレンガ状に固めたものを、暖炉の火種として売り、その収益をもとに校内の畑を運営。そこで採れた野菜でサラダ、キッシュ、スープを作り昼食とし、さらにそれを家庭に持ち帰る。

こうした作業は生徒たちの手で行われる。学校側は、こうした経験が、経済的困窮状態から脱却し、よりよい生活を築いていくために役立つことを期待している。物理的な支援だけでなく、スキルを身につける機会をも与えることが必要不可欠であるという主張である。

困窮する子どもを、助成金などを通して援助する政府の措置は、今のところある程度の評価を得ている。しかし、こうした支援だけでは、加速する子どもの貧困とのたちごっこに陥ることは目に見えている。困窮する子どもの陰には、この国が抱えるさまざまな社会問題が存在している。彼らに生き抜くためのノウハウを伝授するのと平行して、これら問題の解決を進めていかない限り、この先も割を食うのは子どもたちである。

(※1) 等価可処分所得：世帯の可処分所得を世帯員数の平方根で割った値

(※2) デシル：教育省が補助金を各校に振り分ける際に用いる指標。デシルには1から10まであり、1は低所得者層出身の子どもが多く、10は高所得者層出身の子どもが多いことを示す

クローディア・真理（クローディア・マリ）

フリーランスライター。ニュージーランドの北島、ニュープリマス在住。東京で編集者・ライターとして勤務後、1998年ニュージーランドへ。地元日本語誌2誌に携わり、ニュージーランド航空や観光局発行の媒体やウェブサイト、ガイドブックや留学情報誌などへ寄稿。現在はエコ、育児・教育、文化、時事問題などの分野で執筆活動続ける。

2013年08月09日 朝日新聞DIGITAL

ニュージーランドの極右グループ、増え続ける中国系移民を「がん」と攻撃—中国メディア

2013年8月7日、ニュージーランド・オークランド市議会のビーヴァン・チュアン議員は、同国の極右グループが中国系移民を攻撃する内容のビラをオークランド市内のティティランギとオネフンガで配るとの情報を入手した。中国新聞社が伝えた。

ニュージーランドでは中国系移民は英国系移民に次いで多く、その数は今もなお増え続けている。極右グループはこれまでもオークランド市内で中国系移民の排斥を求めるビラをばらまき、同時に非アジア系の新規加入者を募集している。

ビーヴァン議員のフェイスブックには、最近ネオナチや極右グループのメンバーによる言葉の攻撃が相次いでおり、中国系移民のことを「大規模な汚染と過度の増殖をもたらす『ニュージーランドのがん』」と表現。「自分たちの家に帰れ！」との書き込みもあった。

ニュージーランド統計局のデータによると、今年6月に新しく移民となった人口は約2300人で過去4年で最高を記録。増え続ける中国系移民が原因で、同国内の不動産価格が急激に上昇し、大きな社会問題になっている。

(翻訳・編集/本郷) Record China 8月8日(木)

価格上昇に伴い販売住宅の数急増

この7月新たに販売住宅に登録された家の数は、9,857軒に上昇し、前月に比べて9パーセント増。

特にオークランドやクライストチャーチのように、住宅不足が価格を押し上げている。

7月オークランドでの季節調整の提示価格は、63万9,685ドルにまで達した。カンタベリーでも42万2,043ドルと最高額の記録となった。

全国的な提示価格は、46万5,191ドルで、前回のピーク5月を1万ドルも上回った場所もある。

売りに出る住宅数が増えてはいても、市場自体は厳しく、価格は継続的に上昇するであろうというのが、専門家の見方。
2013年8月5日 NZ大好き

中つ国、オールブラックスを凌ぐブランドに

ニュージーランドが中つ国として認識されることは、オールブラックスを凌ぐこの国の国際的なブランドとして確立されつつある、と映画ホビット三部作の関係者のことば。

ホビット3作の撮影は、26日金曜日に終了した。ニュージーランドが、映画ロード・オブ・ザ・リング3部作の中つ国の舞台になって14年となる。

一連の映画により、ニュージーランドは中つ国の舞台として国際的に認められ、国がそれを誇りにし名を高めた、と映画のロケーションマネージャ。

マタマタは、シリーズの精神的な故郷となったとのこと。
2013年7月28日 NZ大好き

「肥満の移民は国外退去」、

NZ当局が南ア男性のビザ更新を拒否

ニュージーランドに6年前に移住した南アフリカ出身の男性が、入国以来30キロも減量したにもかかわらず、太りすぎを理由に就労ビザの更新申請を却下されていたことが分かった。同国紙「プレス（The Press）」が27日に伝えた。

現在、体重130キロのアルバート・ブテンハウス（Albert Buitenhuis）さんと妻のマーシー（Marthie Buitenhuis）さんは、夫の就労ビザが更新できなければ国外退去処分となる。

夫妻が南アからニュージーランド南島の主要都市、クライストチャーチ（Christchurch）に移住した当時、アルバートさんの体重は160キロだった。しかし妻によると、「夫は以前の方がずっと太っていたが、これまで就労ビザの更新に問題はなく、夫の体重や健康状態について何も言われたことはなかった」という。

ニュージーランド移民局（Immigration New Zealand、INZ）の広報担当者はビザ更新を認めなかった理由について、「肥満によって糖尿病や高血圧、心臓病、閉塞性睡眠時無呼吸などの合併症を起こす『多大な危険性』があるため」と指摘。「ニュージーランドの医療サービスにかかるコストと同サービスの需要を最低限に抑制するため、全ての移住者が受け入れ可能な健康水準を維持

していることが重要だ」と説明した。

最近の経済協力開発機構（OECD）の報告では、ニュージーランドは先進国の中で、米国とメキシコに次いで最も肥満の割合が高い国とされている。【7月27日 AFP】

クック海峡でM6.5の地震

＝首都で負傷者、停電もーニュージーランド

【シドニー時事】ニュージーランド政府研究機関GNSサイエンスによると、北島と南島の間に位置するクック海峡で21日午後5時9分（日本時間同2時9分）、マグニチュード（M）6.5の地震があった。



21日、ウェリントンの酒屋で、地震の揺れにより陳列棚から崩れ落ちた商品（EPA＝時事）

海峡に面する北島の首都ウェリントンで4人が負傷したとの情報があるが、死者や深刻な被害は伝えられていない。

震源は、南島セドンの東20キロで、深さ17キロ。この付近では19日にM5.7、21日朝にはM5.8の地震が発生していた。現地の報道によると、ウェリントンの一部で停電。エレベーター内に人が閉じこめられるなどした。建物の窓ガラスが割れて落ち、国会議事堂にもひびが入った。

ウェリントンにある日本大使館によると、日本人の被害は確認されていない。2013/07/21 時事ドットコム

ヨーロッパ人よりもキウイの方が幸せ

ある調査で、平均的な個人の幸福や社会福祉は下にランク付けされていても、ニュージーランド人はほとんどのヨーロッパ人よりも幸せであるという結果がでた。

この調査は、オークランド工科大学が、保健会社Sovereignの資本で行った。

福祉的な基準はヨーロッパ22カ国の平均を下回るランクのニュージーランド人1万人が、平均より幸福と感じ、うつ病にかかる人も少ないという。

ただし一点留意すべき点は、ヨーロッパ人に対する調査は世界経済危機に陥る前の2006年に行われたが、これに対しニュージーランド人に対する調査が行われたのは昨年であるということである。

しかしながら、調査を指揮したグラント・ショフィールド博士は、このことは福祉的な基準を測るのに問題にはならない、とコメントしている。

博士は、幸福度を高めるには5つの方法があり、それは、活動的であること、教育を受けること、人と繋がり合うこと、他人のために時間を割き、配慮すること、今この瞬間を大切にすること、と述べている。

2013年7月17日 NZ大好き

ガソリン記録的な高値

BPはガソリン代を値上げしたが、今回の値段はニュージーランドでは最も高い記録となった。

91オクタンはリッター4セント上がり、2ドル26.9セントとなり、ディーゼルはリッター3セント値上がりの、1ドル57.9セント。これは先週のリッター7セント値上げに続いた値上げ。

他の大手ガソリン会社Zed Energyも同様に値上げしている。

BPのスポークスマンは、世界的な新価格市場に伴って、今回の金額変更を行った、とコメントした。

2013年7月13日 NZ大好き

オールブラックスが日本上陸！

ラグビー世界王者に日本は真っ向勝負を挑む

オールブラックスがやって来る！ 7月12日、日本代表×ニュージーランド代表のテストマッチ開催が発表された。オールブラックスと言えば、1987年の『第1回ラグビーワールドカップ』の王者であり、前回の2011年『W杯』も制した正真正銘の世界チャンピオンだ。IRB(国際ラグビーボード)世界ランキングも1位である。



エディー・ジョーンズ日本代表ヘッドコーチ(写真右)、ジェローム・カイノ(トヨタ自動車)

日本との対戦成績を見れば、両国の力差は明白だ。4戦4敗。スコアは0-74、4-106、17-145、7-83……。それでもエディー・ジョーンズ日本代表ヘッドコーチ(HC)は、勝ちに行くと言った。

「勝ちに行くアプローチでオールブラックス戦に臨む。NZはフィジカルに優れ、一貫性もある。オールブラックスを考えさせる試合をしなければならない」

大敗のリスクを問われても、ジョーンズHCは「日本のラグビーになぜネガティブな考えを持つのか、私には不思議に思う。クレイジー」とキッパリ。

大番狂わせの秘策はない。「日本はボールを速く動かし、相手を考えさせるラグビーをしなくては行けない。世界一のフィジカルを誇るオールブラックスに日本は最初の30分、真っ向勝負するだけ」。

名将は選手たちに本気の準備を求めた。「選手には明日からNZ戦のスタートを切ってほしい。今までの2倍努力して日本代表に入ってほしい。(7月15日～17日)菅平合宿では仮想NZを念頭に置いたトレーニングをする。オールブラックスと戦った後は余力がないほど全てを出し尽くさなければならない」。

2011年『W杯』優勝メンバーで、トップリーグのトヨタ自動車に所属するジェローム・カイノはオールブラックスに消化試合はないと言った。「日本戦はオールブラッ

クにとっても重要だ。日本代表は春のシーズンで素晴らしい成績を残した。ウェールズ代表に勝利したニュースはNZでも伝えられた。我々は定位置を取るために戦うことになるだろう」。

さらにカイノは王者の戦い方はシンプルだと言う。「ラグビーはメンタルスポーツ。15人が個々の仕事を全うすることが大事だ。そしてフィジカルティーが大きな意味を持つ。複雑なプレーをするのではなく、シンプルに戦うことが重要。誰が出ても、フィジカルなゲームになる」。

CTB・廣瀬俊朗主将やNO.8・菊谷崇、FB・五郎丸歩ら日本代表が、FL・リッチー・マコウ主将、SO・ダン・カーターらオールブラックスを向こうに回し、躍動する。そんな夢のような光景が見たい。日本代表×ニュージーランド代表は11月2日(土)・秩父宮ラグビー場でキックオフ。チケットは後日発表。

2013年7月12日 (チケットぴあ)

ニュージーランド、25%以上の乳製品を中国に輸出

ニュージーランドの乳製品をPRするため、同国の第1次産業担当大臣がこのほど、中国を訪問し記者会見を行いました。

紹介によりますと、目下25%以上のニュージーランド産乳製品が中国に輸出されており、2016年までに、中国における乳製品の需要は80.3%増加すると見られています。

第1次産業担当大臣は記者会見で、「気候や生牛乳の供給、生産など、全ての面でニュージーランドの乳製品の質を保証する」と述べ、ニュージーランド産乳製品の安全性をアピールしました。 7月9日中国国際放送局

シンガポール航空ニュージーランドへの観光需要喚起へ

シンガポール航空(SQ)日本支社は6月25日、クライストチャーチ国際空港、ニュージーランド政府観光局(TNZ)と3年間の連携協定の覚書に署名した。東京、大阪、名古屋、福岡からシンガポール経由でクライストチャーチ空港に入る観光需要の喚起をはかる。初年度は旅行業界向けの需要促進などの取り組みに総額2500万円以上を投資。2年目以降の予算は1年ごとに策定する予定だ。SQでは、シンガポール/クライストチャーチ間をボーイングB777型機で週7便運航しており、日本5空港/シンガポール間の週56便と合わせて利便性をアピールしていく。なお、ニュージーランド線ではニュージーランド航空(NZ)が10月以降の関空線運休を決めており、SQとの提携によりアクセスを確保していくねらいもあると見られる。

2013年6月30日 トラベルビジョン

日本ニュージーランド協会（関西）

